

第3章 パークマネジメントのあり方

3-1. 目指すべき公園緑地の姿

公園緑地からはじめる 魅力あふれる沼津の暮らし

これからの本市の公園緑地は、多様なストック効果を生かして、地域が求める様々なニーズに対応することで、市民の皆さんがより柔軟に利活用できるパークマネジメントの実現を目指します。

本プランは、皆さんが日常的に公園緑地の維持管理・運営管理に深く関わることで、豊かなライフスタイルの確立、良好な地域コミュニティの形成など、魅力あふれる暮らしを先導する公園緑地の姿を目指します。

そのため、公園緑地に求められる「楽しく使いこなせる公園緑地」「みんなの舞台となる公園緑地」の実現を目指します。

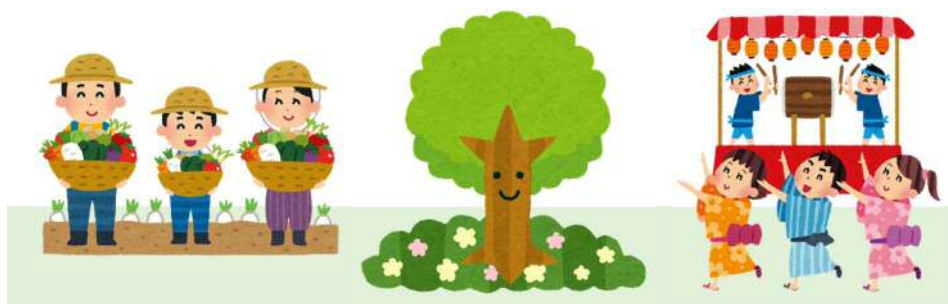
楽しく使いこなせる公園緑地

多くの方が柔軟に使いこなせることで、暮らしのニーズに公園緑地が応え、地域の愛着を育て、暮らしやすさを向上させます。



みんなの舞台となる公園緑地

人々が集い、交感し、つながりや創造を生む空間とすることで、趣味や興味が広がるとともに、新しいことを生み出す地域の魅力を創出し、暮らしを豊かにします。



3-2. パークマネジメントの3つの視点

本市では「公園緑地からはじめる 魅力あふれる沼津の暮らし」の実現を目指していくため、前章で示した課題解決の3つの視点で本市のパークマネジメントを推進していきます。

視点 A 年間を通したにぎわい・交流を目指した集客力のあるパークマネジメント

多様な主体による多彩で柔軟な公園緑地の利活用の実践によって、市内外より人を集め、休日のもとより、平日まで年間を通したにぎわいや交流を創出する維持管理・運営管理の視点でパークマネジメントを推進します。

また、まちなかにあるなど集客要素としてのポテンシャルを生かして、企業などの民間事業者や市民活動団体などによる積極的なパークマネジメントへの参画を促進することで交流人口の増加等が期待できます。

【視点 A によるパークマネジメントのイメージ】



「沼津自慢フェスタ」(中央公園)



「こいのぼりフェスティバル」(港口公園)

視点 B 子どもから高齢者まで様々な世代が利用したくなるパークマネジメント

子どもや子育て世代、高齢者など、様々な世代のニーズへの対応がなされ、活発な公園緑地利用が図られるなど、暮らしの満足度向上に繋げていく維持管理・運営管理の視点でパークマネジメントを推進します。

また、公園緑地そのものを地域の魅力を高める資源ととらえ、それぞれの公園緑地が個性ある魅力づくりを行うことで、公園緑地を通じて地域そのものへの誇りや愛着の醸成に繋げていくことができます。

【視点 B によるパークマネジメントのイメージ】



公園内の特徴的資源の活用（高沢公園）



子どもが安心して遊べる場（西添 1 号公園）

視点C 地域コミュニティによる柔軟で楽しいパークマネジメント

公園緑地を舞台に、公園愛護会の他、自治会やコミュニティ推進委員会、地域の市民活動団体などが、地域の特性を生かして自主的に取り組む活動を支援するなど、支えあう地域づくりや住みよい地域づくりへつなげる視点でパークマネジメントを推進します。

また、園内施設の老朽化に伴う施設の更新に際し、地域住民をはじめとする利用者のニーズに合った施設のリニューアルも検討していきます。

【視点Cによるパークマネジメントのイメージ】

公園内の花壇の維持管理



公園の芝刈り



地域のイベント開催

3-3. パークマネジメントのあり方

ここまでに整理した「目指すべき公園緑地の姿」と「パークマネジメントの3つの視点」を踏まえて、本プランを展開します。

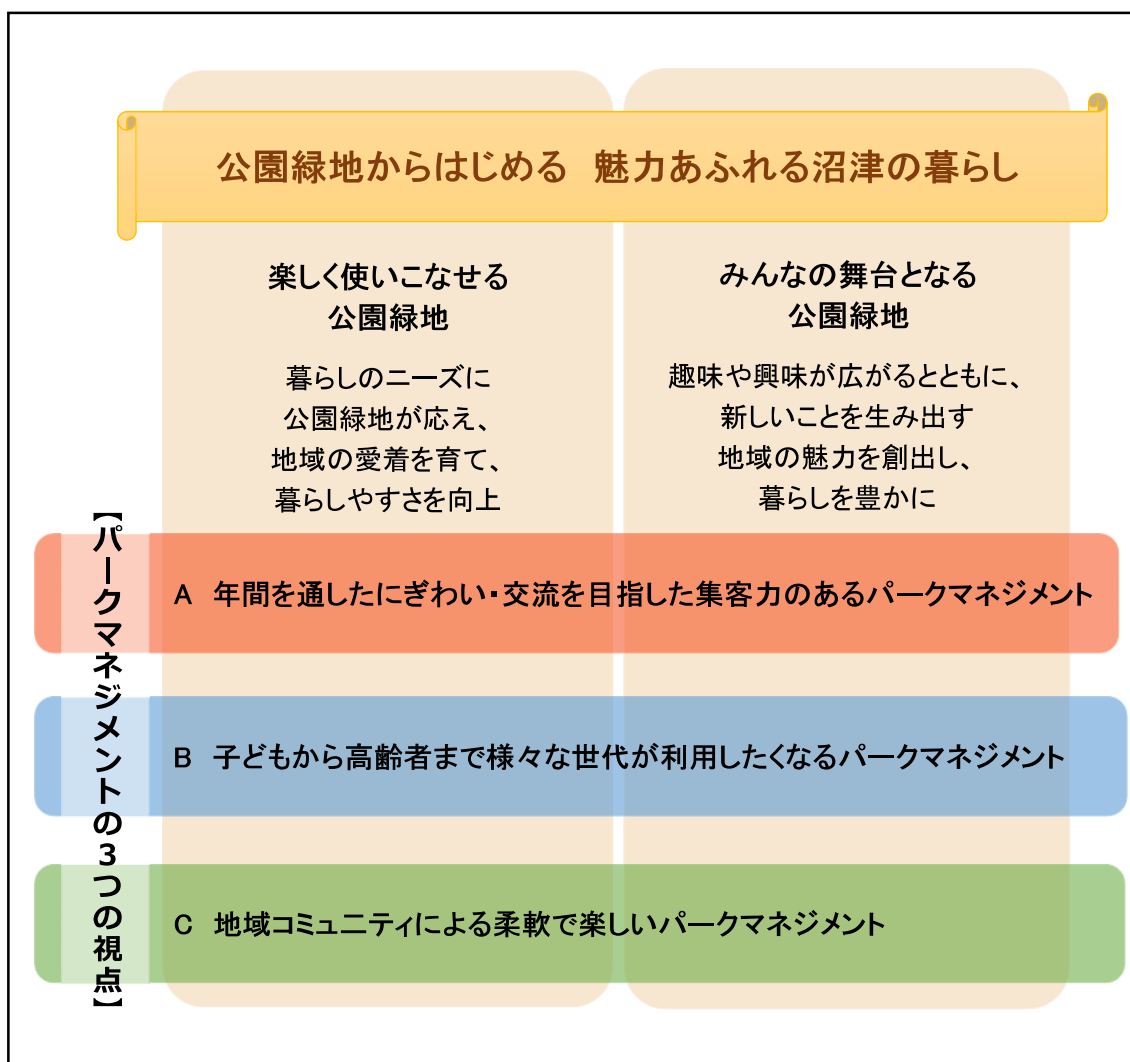


図 パークマネジメントのあり方